

10月です 後期がはじまりました

2期生の中高養は、10月から後期がスタートしています。前期の終わりに各学年の現場実習が終了し、今は、振り返りと新たな気付きについて、各生徒たちが学んでいるところです。

先日、幕別分校の後期始業式で、「仕事の楽しさ」について話をしました。「羽田空港は世界一きれいな空港」というお話です。

世界一きれいになっている背景には、「楽しく清掃をしている人たち」の存在がいます。どうして?と思いますが、長年羽田空港で清掃業に携わってきた新津(にいつ)春子さん。

新津さんが清掃を楽しみ、と思えるのは、「自分一人ではできないことも、力を合わせるとできる」

「誰かがうれしいと思う顔が思い浮かぶ」などいろいろな理由があるようです。

新津さんのお仕事への思いは、作業学習を頑張る生徒たちにも伝えたい言葉がたくさんです。

「清掃が楽しい」

「協力すると楽しい」
「自分のできごとと相手のできごとを合わせる」

・気づかいは自分のためにもなる

・お客様の気持ちになって清掃すると“喜ぶ顔”が見えてくる

現場実習を終えた生徒たちと向き合う時、「仕事をするための〇〇」について話題になります。私たち大人が仕事を続けているのは、その仕事を楽しみと思えるからだと思います。

生徒たちにとっても、仕事が楽しくなるために、後期も「できなかったことができた実感」「誰かのためになった実感」をたくさん味わってほしいと思っています。仕事を楽しみ、と思える人に育った生徒は、もっと高い技術を習得してほしいと思っています。

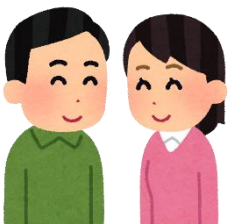
インクルーシブ事業 第2回連携協議会

10月4日、インクルーシブ菜学校運営モデル事業の第2回連携協議会が開催されました。毎年行われている更別農業高校との2年生同士の交流学习が、今年も10月8日に行われます。お互いのことをもっと知りたい、という思いから、両校で動画での交流を経て、当日を迎える予定です。

生徒同士が仲良くなって、いずれ日常的な交流が実現できることを期待しています。



優しい大人でいたいですね



相手の表情や動きを敏感に感じ取って、緊張感を高めてしまう人がいます。人と向き合ったときに、笑顔でいることを惜しまない人には、生徒はいろいろなことを話してくれます。日ごろから、誰と向き合う際にも相手を緊張させないように心掛けることは、平和な社会づくりの第一歩だと思っています。今日も学校全体、中札内村の皆さんが笑顔でスタートできますように!